



学校だより

天王丘



令和4年12月23日(金)

第30号

観音寺市立柞田小学校
発行

長
子
配
付

2学期も「ありがとうございました」～2学期終業式を終えて～

本日、終業式を行い、子どもたちは2学期を終えることができました。これもひとえに、保護者の方々や地域の方々のご支援、ご協力のおかげであると深く感謝しております。本当にありがとうございました。終業式は、今学期も放送で行いました。子どもたちには、2学期を終えるにあたって、そして冬休みを迎えるにあたって、次のような話をしました。

いよいよ明日から冬休みに入ります。今年の冬休みは十七日間あります。一番短い年に比べて四日も多いことになりました。一月九日に冬休みを振り返った時に、「良い冬休みだった。明日からまた頑張るぞ!」という気持ちになれる、素敵な日々を過ごしてほしいと思います。

2学期、みなさんはいろいろな事によく頑張りました。六年生の修学旅行、五年生の宿泊学習は、大きな行事でしたが、全員で参加ができたこと、一生の思い出を全員でつくることのできたのは、素晴らしいことでした。そのほかにも、校外学習、スポーツ発表会、マラソン大会や集会など、いろいろな行事を経験しながら、心も体も大きく成長しました。校長先生は、こうした行事で活躍するみなさんの姿を見るのも好きですが、もっとも嬉しかった時間は、毎時間毎時間の授業を見ることです。どの先生も一生懸命に教えてくれ、その授業を受けている、その姿を見るのが一番嬉しい時間です。学校生活の大半の時間は授業です。その授業の時間を大切にして楽しそうに、真剣に受けている姿がとても素晴らしかったと思います。一生懸命に教えてくれた先生方に、そして一生懸命に頑張った、励まし合った周りの友達に「ありがとうございました」の言葉で2学期を終えたいと思います。

今ふれた「ありがとうございました」という言葉、この言葉は、魔法の言葉です。世の中喧嘩が起きたり、国同士で争いがあったりするときには、まず間違いなく、この「ありがとうございました」が忘れられています。サッカーのワールドカップでは試合終了後に、両チームの選手が「ありがとう」と言い合ってお互いに握手をしたり抱き合ったりしているの見た人も多いと思います。大活躍をした日本代表のメンバーは、試合後のロッカールームをきれいに掃除して、「ありがとうございました」というメッセージとともに、日本代表的な文化である折鶴を置いて帰りました。それが、世界中から「なんて日本人は素晴らしいんだ」「日本を見習おう」というふうに褒められていたことも忘れられません。

そうです。「ありがとう」という言葉は人を幸せにする魔法の言葉なのです。ぜひ、冬休み、今から家や地域で過ごすことが多くなりますが、いろいろな人にお世話になった時に「ありがとうございました」という言葉を忘れない冬休みにしてください。「ありがとうございます」という言葉によって、心が温かくなり、相手が好きになります。これこそが、心と言葉をつむぎあう、心と言葉のキャッチボールです。「ありがとうございました」。この言葉を冬休みの、そして三学期のテーマにしたいと思います。どうか、ありがとうがあふれる冬休みにしてください。

2学期の終わりにあたり、校長先生からみなさんに、「ありがとう」という言葉の大切さについてお話をしました。どうか、みなさんにとって、この冬休みが楽しく、思い出の多いものになることを心から願っています。2学期終業式の式辞といたします。

3学期の授業参観は1月26日(木)開催予定です!

今年度最終となる授業参観を、令和5年1月26日(木)に開催の予定です。当日は、5校時の授業を参観いただいた後、6校時に、落語家でラジオパーソナリティーでもある、桂こけしさんをお迎えしての講演会を開催する予定です。

終業式でも話をした、子どもたちが真剣に学び合う姿、話し合う姿をぜひご覧いただきますとともに、桂こけしさんの軽妙なお話をぜひお聞きいただければと思います。

たくさんの方のご参会を、心よりお待ちしております。